

平成30年 第2回鹿児島スポーツマスターズゴルフ大会

■開催日・開催場所

- 1日目：平成30年2月21日（水曜日） 南九州カントリークラブ
- 2日目：平成30年2月22日（木曜日） 蒲生カントリークラブ

主催：鹿児島県ゴルフ協会

後援：九州ゴルフ連盟・南日本新聞社

競技の条件

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則と、この競技のローカルルールを適用する。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用球の規格

公認球リストの条件(付属規則Ⅰ(B)1b)を適用する。 (規則書P177)

4. 使用クラブの規格

適合ドライバーヘッドリスト(付属規則Ⅰ(B)1a)を適用する。 (規則書P176)

5. 競技終了時点

本競技は競技委員会の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

6. ホールとホール間の練習 (規則7-2注2)

付属規則Ⅰ(B)5b』を適用する。 (規則書P181)

7. プレーの中断と再開

(1) プレーの一時中断(落雷などの危険をともしない気象状況)については、ゴルフ規則6-8b、c、dに従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが一時中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則33-7に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。この条件の違反の罰は競技失格。(ゴルフ規則6-8b注)

(3) プレーの一時中断と再開の合図について

通常のプレー中断：短いサイレンを繰り返して通報する。またはサイレンを使用せず、本部より競技委員を通じて競技者に連絡する。

険悪な気象状況による即時中止：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレー再開：1回の長いサイレンをならして通報する。

(1日目) 南九州カントリークラブ ローカルルール

1. アウト・オブバウンズの境界は、白杭をもって標示する。
2. 修理地は、青杭又は、白線をもってその限界を標示する。
3. 排水溝は、動かさない障害物とする。(ゴルフ規則 24-1 を適用)
4. バンカー内の石は、動かせる障害物とする。
5. 舗装された道路に接した排水溝・わだちなどは、その道路の一部とみなす。
6. 樹木保護の為に巻物施設(巻網など)はコースと不可分の部分とする。

(2日目) 蒲生カントリークラブ ローカルルール

1. アウト・オブバウンズの境界は、白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭または、白線をもってその限界を標示する。
3. バンカー内の石は、動かせる障害物とする。(ゴルフ規則 24-1 を適用)
4. 排水溝は、動かさない障害物とする。
5. 電磁誘導カート用の2本のコンクリート軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。球がこのカート道路上にある場合、競技者はゴルフ規則 24-2b (i) の救済を受けなければならない。このローカルルールの違反の罰は、2 打。

注 意 事 項

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときはスタート付近に掲示して告示する。
2. 男子の部は、青ティマーカー、女子の部は、白ティマーカーを使用する。
3. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあげないよう注意のこと。プレーを不当に遅らせた場合は、ペナルティを課す。
4. グリーン保護のため、メタルスパイクシューズ・タウン用シューズの使用を禁止とする。必ずコース専用のシューズに履き替えること。
5. 練習は指定練習場にて行い、打放し練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習では球数に制限がある。
6. スタートの呼出は一切行なわないので、スタート時間 10 分前までにはスターティングホールに待機すること。
7. 委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
8. 委員会は規則 33-7 に基づき、エチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。

南九州カントリークラブ 競技委員会
蒲生カントリークラブ 競技委員会